

令和4年2月8日(火)

令和3年度がんサバイバーシップ研究成果発表会 プログラム

発表時間20分(発表:12分 質疑:5分 調整時間:3分)

(敬称略)

がんサバイバーシップ研究成果発表会				
9:55 ~ 9:58		石塚 正敏	がんサバイバーシップ研究支援事業運営委員長	開会挨拶
10:00 ~ 10:17	1	新井 康之	京都大学医学部附属病院	同種造血幹細胞移植前後のリハビリテーションによる、移植後社会復帰率改善効果の解析
10:20 ~ 10:37	2	岩田 慎太郎	国立がん研究センター中央病院	AYA世代の悪性骨腫瘍サバイバーにおけるスポーツ活動に関する調査研究
10:40 ~ 10:57	3	片山 佳代子	群馬大学 情報学部	がん電話相談データベースから発掘する男性がん患者のアンメットメディカルニーズの把握とその対策
11:00 ~ 11:17	4	後藤 真一	国立がん研究センター中央病院	Financial toxicity(経済的毒性)に着目したがんサバイバーの治療と生活の両立のための支援プログラムの開発
11:20 ~ 11:37	5	田中 厚誌	信州大学医学部附属病院	軟部肉腫患者の日常生活動作の向上にむけたリハビリテーションプログラムの開発と支援ネットワークの構築
11:40 ~ 11:57	6	寺田 星乃	愛知県がんセンター	頭頸部がんサバイバーのQOLと仕事復帰に関する調査-復職支援体制の構築をめざして
(11:57 ~ 12:57)	休憩			
13:00 ~ 13:17	7	平沢 晃	岡山大学大学院	遺伝性乳癌卵巣癌症候群サバイバーおよびプレバイバーに対する情報提供と意思決定支援を旨とした医療圏連携体制の構築
13:20 ~ 13:37	8	平山 貴敏	国立がん研究センター中央病院	オンラインコミュニケーションツールを活用したAYA世代がんサバイバーのネットワークシステム『オンラインAYAひろば』の開発
13:40 ~ 13:57	9	前田 紗江	京都大学大学院	混合研究法による女性生殖器がん治療後の性生活に関する情報探索行動の明確化:情報提供ツール開発に向けて
14:00 ~ 14:17	10	馬淵 誠士	大阪国際がんセンター	子宮頸がんサバイバーのSexualityに関する実態調査と性生活の維持および質の向上を目的としたパンフレットの開発
14:17 ~ 14:20		堀田 知光	(公財)がん研究振興財団理事長	総括・閉会挨拶
終了				